



東北大学グローバルCOE

Network Medicine

創生拠点

NM高等教育セミナー

# 落合 恭子博士

(Singh Lab, Department of Molecular Genetics and Cell Biology,  
The University of Chicago・博士研究員)

## 「Regulation of pre-B cell differentiation by IL-7 signaling and the FoxO transcription factors」

2010年8月20日(金) 15時-16時  
医学部1号館2階 第1セミナー室

細胞分化を理解するためには、分化制御に関わる転写因子とその標的遺伝子群が形成するネットワークの構造と機能を解明する必要がある。近年、次世代シーケンサーを用いてゲノムワイドな転写因子結合部位やクロマチン修飾状態をマップし、細胞分化を転写因子結合状態やクロマチン修飾状態の変動として理解する試みが始まっている。落合博士はBリンパ球分化に必須の転写因子IRF4やFoxO1等に注目し、Chromatin-immunoprecipitation-sequence (ChIP-Seq) 法を用いて転写因子ネットワーク解明を進めている。

本セミナーでは最新の成果に基づいてBリンパ球分化の転写ネットワークを紹介して頂くとともに、技術的問題点なども討論して頂く。

本セミナーは医学履修課程特別セミナーを兼ねています。受講学生は履修振替簿を持参し、セミナー終了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。学部生の皆さんもぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知 / 世話人 五十嵐 和彦(生物化学分野・内線7596)